

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	5711	担当課等	学校教育課								
事務事業名	学校支援ボランティア活用事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P117 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③ 中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	地域の方々にかかわっていただき、地域との連携を図り、生徒を育てる教育環境を推進する。								
対象	地域のボランティア								
内容	授業における教師のサポートや、学校図書館の蔵書整理などに地域のボランティアに携わっていただく。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	79,729	59,491	104,000		
	人件費					
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	79,729	59,491	104,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	79,729	59,491	104,000		
	財源合計	79,729	59,491	104,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 学校の様々な場面において地域ボランティアにかかわってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 学校の様々な場面において地域ボランティアにかかわってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 地域の方が多く学校現場に接してもらうことで、地域と学習の連携が図られるとともに、教育現場の透明性を図ることができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 学校環境の維持向上及び透明性が確保されることで 児童・生徒の学校生活の向上につながる。
令和3年度までの自己評価または改善点	特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	事業の性格上、学校として行う必要があると考える。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和5年度以降の方向性	現状維持	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	学校環境の維持向上をボランティアの協力をいただき継続的に図る必要がある。
------	----------	--------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	5728	担当課等	学校教育課								
事務事業名	生徒用机・椅子・教卓等整備事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P117 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	(3) 中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	生徒用机・椅子・教卓等の学校用品を更新し、生徒が安全・安心して学習できる環境を整備する。								
対象	湯河原中学校								
内容	生徒用机、椅子、教卓等の修繕及び更新。 学校用品は、机の天板を張り替える等修繕して使用しており、修繕不能となるものを更新している。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	529,078	593,230	593,480		
	人件費					
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	529,078	593,230	593,480		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	529,078	593,230	593,480		
	財源合計	529,078	593,230	593,480		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 生徒が使用する机等の更新を図るため必要。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
令和3年度までの自己評価または改善点	特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	備品等の修繕及び更新事業のため、行政として行う必要があると考える。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和5年度以降の方向性	現状維持。生徒数の推移を注視していく。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	破損したり古くなった机・椅子を定期的に更新していく。
------	----------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	5735	担当課等	学校教育課								
事務事業名	防災備蓄用品購入事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P117 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	(3) 中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	緊急時における生徒の安全確保を図るため、毎年防災備蓄用品を順次整備している。								
対象	湯河原中学校								
内容	備蓄用食料、飲料水、防災用備品を整備する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	205,480	199,560	181,374		
	人件費					
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	205,480	199,560	181,374		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	205,480	199,560	181,374		
	財源合計	205,480	199,560	181,374		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 緊急時における生徒の安全確保を図るため実施する。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 毎年、防災備蓄品を順次整備している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 屋上避難や、教室に待機する際に生徒の安全確保が図られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 湯河原中学校生徒全員に対して防災備品を整備している。
令和3年度までの自己評価または改善点	特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	防災備蓄用品購入事業のため、行政として行う必要があると考える。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	学校と連携を図り、要望に沿った備品等を整備します。	
令和5年度以降の方向性	令和5年度より、小学校購入分と統合するため事務局費に移すが、引続き、学校と連携を図り、児童・生徒数の推移を注視し、整備を行う。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	防災備蓄用品は、継続的に整備していく必要がある。
------	----------	--------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	7794	担当課等	学校教育課								
事務事業名	校舎等整備事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P119 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩ 教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	学校の修繕必要箇所や工事必要箇所を計画的に改修し、維持管理を図るもの。								
対象	湯河原中学校								
内容	令和3年度は、車イスを利用する生徒が入学しましたので、渡り廊下や体育館への通路をバリアフリーに改修しました。 また、体育館棟の雨漏り改善のため、明り通りの改修を行いました。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
	事業費	0	3,828,000	4,290,000	
コスト 人件費	常勤職員	0	1,371,200		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	1,371,200		
総事業費	0	4,879,950	5,661,200		
財源内訳	国庫支出金		1,444,000		
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	4,879,950	4,217,200	
財源合計	0	4,879,950	5,661,200		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	4 町立小学校の維持管理や改修については、学校と連携し実施する必要があるため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 長寿命化計画に従い、適切な維持管理を図ること出来ている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 長寿命化計画に従い、適切な維持管理を図ること出来ている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 各学校に修繕等の必要箇所が多くあるので、計画的に改修する必要がある。

令和3年度までの自己評価または改善点	学校が希望する修繕必要箇所を精査し、計画的に改修をしなければいけない。
--------------------	-------------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	学校施設の維持管理は教育委員会並びに学校長であるため。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	令和4年度は、国庫補助制度を活用し、空調設備の整備工事を行いました。また、学校と連携を図り、改修を要する箇所や適正な時期を見直す必要はあると考えます。	
令和5年度以降の方向性	今後も継続して、児童・生徒の安全・安心の向上を図るため、計画的な改修等を行います。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	計画的に施設改修等を行います。
------	----------	-----------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	11910	担当課等	学校教育課									
事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業											
予算科目コード	会計	001	款	09	項	05	目	01	事業開始年度	令和	2	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P119 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	1 小・中学校教育の推進	⑩ 教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	学校における新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心な学校生活を推進します。								
対象	湯河原中学校の生徒及び教職員								
内容	新型コロナウイルス感染症対策として保健衛生用品や備品を整備します。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
	事業費	2,843,000	1,310,000	1,350,000		
	人件費					
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	2,843,000	1,310,000	1,350,000		
財源内訳	国庫支出金	2,843,000	1,310,000	675,000		
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	675,000		
	財源合計	2,843,000	1,310,000	1,350,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 生徒及び教職員等の安全・安心の確保や支援であるため、行政が行います。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 新型コロナウイルス感染症対策を充実することができた。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 新型コロナウイルス感染症対策を充実し、生徒が感染症対策等を習慣化することができた。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 消耗品が大多数を占めるので、定期的な整備が必要となります。

令和3年度までの自己評価または改善点	国庫補助制度を活用し、迅速に消毒液、空気清浄機等の保健衛生用品や、備品を整備し、感染症対策を講じた学校運営を行うことができた。
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	性質上、行政が必要である。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	令和4年度においても、国庫補助制度を活用し、保健衛生用品や備品の整備をすることができた。	
令和5年度以降の方向性	今後とも継続して、感染症対策を講じた、安全・安心な学校生活の推進を図ります。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	限られた予算の中で、最善な対策に努める必要がある。
------	----------	---------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	12091	担当課等	学校教育課							
事務事業名	中学校給食施設等整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	01	事業開始年度	令和 2 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P119 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	⑩ 教育施設・設備・整備の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	中学校給食の実施を図るもの。								
対象	湯河原中学校生徒及び教職員								
内容	中学校給食を実施するにあたり、湯河原中学校給食施設等の基本設計及び実施設計の業務委託を図るもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)	
コスト	事業費	0	2,640,000	0	
	常勤職員	0	1,402,600	0	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	1,402,600	0	
	総事業費	0	4,042,600	0	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	4,042,600	0	
財源合計	0	4,042,600	0		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	4 町立学校の整備等に関することは、町において学校等と連携し実施する必要があるため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 中学校給食の実施に向け、計画を進めること出来る。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 中学校給食の実施に向け、計画を進めること出来る。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 中学校給食の実施に向け、計画的に事業を進める必要がある。
令和3年度までの自己評価または改善点	中学校給食の実施に向け、令和2年度においては、基本設計等の計画を立てることができた。 また、今後の学校のあり方を検討していく中で、中学校給食についても検討を進めなければいけない。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	委託実施済み
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	中学校給食の暫定的な実施について、検討する。	
令和5年度以降の方向性	暫定的に中学校給食を実施できるよう早期に検討する。 また、今後の学校のあり方を検討していく中で、中学校給食についても検討する。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	基本設計業務は完了しました。 暫定的に早期に中学校給食を実施できるよう検討している。
------	---------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	
------	---------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	5782	担当課等	学校教育課							
事務事業名	外部教育力活用事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	02	事業開始年度	令和 3 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P117 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③ 中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	中学校の卒業期をとらえ、生徒の調和ある心身の発達と個性の伸長を促すとともに、自らを振り返り、自己の向上と今後の充実した生き方に示唆を与えるもの。								
対象	湯河原中学校生徒								
内容	卒業予定の中学3年生に対して、講演会を行うもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
	事業費	0	30,000	100,000	
コスト 人件費	常勤職員				
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	0	
総事業費	0	30,000	100,000		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	30,000	100,000	
財源合計	0	30,000	100,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 自己の向上として、卒業生を対象に講演会を実施しているため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 講演会の開催により、教育活動をより充実したものにできている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 講演会の開催により、教育活動をより充実したものにできている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 毎年、卒業生を対象としているため公平性を保っている。

令和3年度までの自己評価または改善点	外部講師をお招きし講演会を開催し、学校教育活動の充実を図った。
--------------------	---------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	講演会を開催することで、生徒の教育活動の充実を図るため。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和5年度以降の方向性	現状維持	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、生徒の教育活動の充実を図る必要がある。
------	----------	--------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	12469	担当課等	学校教育課							
事務事業名	図書等整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	02	事業開始年度	令和 3 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P117 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③ 中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	学校図書の充実や、多様化する学習内容へ対応していくための、教師の資質向上を図るもの。								
対象	湯河原中学校児童及び教職員								
内容	学校図書館における児童用図書、教師用指導書、教育振興教材備品、特別支援教育振興備品を購入・整備するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
	事業費	0	4,603,435	1,647,660	
コスト 人件費	常勤職員				
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	0	
総事業費	0	4,603,435	1,647,660		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	4,603,435	1,647,660	
財源合計	0	4,603,435	1,647,660		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 文部科学省の学校図書館整備計画に基づき学校図書館の蔵書等の充実を図るもの。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。

令和3年度までの自己評価または改善点	令和2年度までの「図書整備事業」、「指導用図書等整備事業」及び「教育振興教材備品事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、学校において児童用図書等の整備を行った。
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 学校図書館の蔵書整備等のため、行政として行う必要があると考える。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和5年度以降の方向性	整備すべき備品等については、今後とも継続して行う必要がある。

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	定期的な整備を要します。
------	----------	--------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	12470	担当課等	学校教育課							
事務事業名	総合的学習等推進事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	02	事業開始年度	令和 3 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③ 中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	各学年の発達段階に応じた活動や調べ学習を行い、教科にとらわれない総合的な課題などについて学習を行います。また、全教職員が参画する校内事業研究会の開催等を推進しました。								
対象	湯河原中学校生徒及び教職員								
内容	教職員の資質向上を図るもの。 町が推進する「緑と花のある町づくり」に連動し、情操教育の推進を図る。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	0	324,623	489,000		
	人件費					
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	0	324,623	489,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	324,623	489,000		
	財源合計	0	324,623	489,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 総合的な学習内容の充実を図るため、学校において事業を実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 総合的な学習内容をより充実したものにできている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 総合的な学習内容をより充実したものにできている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 全生徒を対象としているため公平性を保っている。

令和3年度までの自己評価または改善点	令和2年度までの「教育研究発表事業」、「花いっぱい教育推進事業」及び「総合的な学習推進事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、学校において総合的な学習の推進を図ることができた。
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	生徒及び教職員が総合的な学習を推進するため。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和5年度以降の方向性	現状維持	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、児童の学習意欲の向上及び教職員の資質の向上を図る必要がある。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	12471	担当課等	学校教育課							
事務事業名	部活動推進事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	02	事業開始年度	令和 3 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P117 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③ 中学校教育の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	部活動の充実を図るため、部活動用品の整備や専門的な指導力の強化をするもの。								
対象	湯河原中学校生徒、地域の方								
内容	部活動用品の更新や修繕、外部指導者の充実等。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)			
	事業費	0	864,566	1,520,000		
コスト 人件費	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	0	864,566	1,520,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	864,566	1,520,000		
	財源合計	0	864,566	1,520,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値	

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 部活動の充実を図るため、学校において事業を実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 部活動の推進について、より充実したものにできている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 部活動の推進について、より充実したものにできている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 全部活を対象としているため公平性を保っている。

令和3年度までの自己評価または改善点	令和2年度までの「部活動用品整備事業」、「吹奏楽部楽器整備事業」及び「部活動外部補助指導事業」を統合したもので、事務のスリム化を図った。 また、学校において総合的な学習の推進を図ることができた。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	性質上、行政及び学校において事業を実施するため。
令和4年度の見直し及び改善 (実績または予定)	継続して、計画的に部活動用品の整備を行う。	
令和5年度以降の方向性	部活動用品については、経年劣化等により損傷がみられますので、計画的な整備を行います。 また、外部指導者の充実により、超過する教職員の働き方改革にも繋がりますので、学校への支援を更に図ります。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	継続的に部活動の振興を図ります。
------	----------	------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--